



令和3年3月16日  
小田原市立前羽幼稚園  
園長 越川 知香子

世の中が不安な毎日を過ごしている中、明るい未来を願い2021年が幕を開けました。幼稚園では、感染症対策をしながら合同保育を行い、年長児と年少児が関わる時間を確保し、楽しい思い出をたくさんつくりました。また、正月遊び、節分の豆まき、ひな祭りなどの行事も、例年とは違った取り組みをしながら経験をしました。あっと言う間に時間が流れ、第3学期も終わりです。年長さんと過ごしたたくさんの日々が、つい昨日のように思い出され、胸が熱くなります。

いよいよ明日は卒園式です。少人数保育、前羽幼稚園の良さ“一人一人を大切に”を合言葉に、一人一人に心を込めて修了証書を渡したいと思います。晴れの姿をしっかりと保護者の皆様に見ていただき、自信をもって小学校へと送り出したいと思います。

### 第3学期の思い出



#### <正月遊び・絵合わせカード>

日頃から、繰り返し“虫”的絵合わせカードで遊んでいた子どもたち。少しリアルな絵カードだったことで、「他の絵合わせカードをつくりたい！」とみんなで相談し、果物と動物のカードを協力してつくり始めました。「何の果物にする？」「動物はどうする？」など、頭を突き合わせて大きいや素材、デザインを考えながらつくりました。思考力の基礎が培われています。

#### <正月遊び・凧あげ>

年少児はビニール袋で、年長児はカラーポリ袋で凧をつくり、公園や海岸に凧あげに行きました。年長児は、形に合わせて切ったり、竹ひごを付けたりして、どうやったら高く飛ぶのか？試行錯誤しながらつくりました。繰り返して飛ばす経験から無風でも高く飛ばすことができる技も学びました。

#### <節分>

今年は2月2日が節分でした。なぜ3日ではないのか？という不思議な出会いに探求心が芽生えました。また、年長児は時間をかけて張子の面を作りました。じっくりと粘り強く取り組み、面づくりの構造を知る学びの機会になりました。キラキラ星さんと一緒に豆まきをして無病息災を祈りました。



#### <英語で遊ぼう>

今年度最終日。ジェレミー先生がホールに入り“ハロー”と話し掛けても反応がいま一つの子どもたちでしたが、ジェレミー先生のコミカルな動きに笑い声が広がり、心が一気に解れ、問い合わせに大きな声で答えたり、ジェスチャーしたりする姿がありました。楽しみながら英語に触れることができました。

#### <ひな祭り会>

桃の節句に向けて、玄関に雌雛と雄雛が飾られました。ひな祭り会でブラックシアター（劇）を見ながら、“ひな祭り”的歌詞に合わせて、人形や装飾の意味について知り、日本の文化に触れることができました。また、園外散歩で買って来たひなあられを（距離を取って）食べ、楽しい時間を過ごしました。

#### <ありがとう会>

年少児が、一年間優しくいろいろなことを教えてくれた年長さんへの感謝の気持ちを込めて、話し合いをし、準備を進めてくれました。当日は、年少さんの進行で、踊りやゲームを楽しみ、年長さんにステキなプレゼントを渡すと、年長さんも手作りのティッシュケースをお返してくれました。添えられたメッセージは「年長さんになったら、すみれさんのお世話頑張ってね！」など、心温まるメッセージでした。

## 地域の皆様に支えられて



### <福豆を買いに行きました>

年末に押切郵便局に年賀はがきを投函に行きました。その道中に商店があり、店先の店主の方に子どもたちが挨拶をすると快く挨拶を交わしてくれました。いろいろな物が売っていることに気付いた子どもたち。節分の福豆を“たたみ屋”で買いたい！と、買い物に行くことになりました。当日は、福豆が1袋100円ということで、全員が100円玉を手作り財布に入れ、店内を探検し、レジで福豆を買いました。支払いをするときれいなレシートをくれ、買い物体験をすることができました。また、“たたみ屋”という名前の由来も教えていただき、昔の前羽地域について少しだけ、知ることができました。こういった経験が地域の昔に興味を持つ学びの芽のきっかけになっていくことがわかりました。

### <座禅体験>

瀬戸川先生に座禅を教えてもらいました。禅は“非思慮底”といって体に感じたまま何も考えずに心を落ち着かせるという意味があるそうです。姿勢を正し、腹式呼吸で鼻から息を吸い、吸う2倍の時間で吐き出します。年長児は22分間頑張りました。なかなかできない体験をさせていただきました。



### <ひなあられを買いに行きました>

9月に買い物に行かせてもらった“しまむらストアー”にひなあられを買いに行きました。季節が変わり、同じ店でも店内の展示品や売られている物に違いがあることに気付いた子どもたち。また、数種類のひなあられから、どれにしようか選ぶ際にグラムと金額を比べ「こっちの方が、同じ値段で沢山入ってる！」と数量の違いに気付き、買い物かごに入れました。数や数量にも関心をもつ姿がありました。

### <絵本の読み聞かせ>

卒園児のお母さんが読み聞かせボランティアに来てくれました。今の季節に合った内容で、柔らかく聴き心地のよい声色に、引き寄せられるように物語の世界へ入っていくようでした。子どもたちはとても静かに最後まで聞いていました。絵本を読むことは、集中力を養い、新しい知識や価値観に対して興味をもてる豊かな好奇心と探求心を培うことにつながっていきます。

### <ジャガイモ種イモ植えの準備>

げんき畑の草取りに行くと、小野澤藤一さんと啓二さん、足立さんが来てくれました。草取り修了後、栄養をあげる（カルシウム肥料）と藤一さんが耕運機をかけてくれました。すると、今まで力ちがちだった土が「サラサラしてる！」「フワフワだよ！」と“サラサラフワフワ”的に大変身。土の栄養を知ったり、土質の不思議に気付いたりして種イモ植えへの期待が一層膨らみました。



### <ジャガイモ種イモを植えました>

年少児が種イモを半分に切り、1週間が経ちました。「このジャガイモが種イモ？」と少し不思議に思った年少さんですが、年長さんになってからの収穫を楽しみにしながら、げんき畑に種イモ植えに行きました。年長児も一緒に手伝いました。畑に到着すると、すでに小野澤藤一さんと啓二さん、足立さんが畝をつくってくれていました。植え方を教えてもらい順番に種イモを土の中に入れていきます。「土をたくさん掘って、平らな方を下に向けて、そっと土のお布団を掛けてあげようね！」「最後にギュギュと押すよ！」と言しながら丁寧に植えていきました。イノシシ除けの柵も設置していただきました。最後に一年間を通して、お世話になった小野澤藤一さんと啓二さん、足立さんに子どもたちから感謝の気持ち伝え、メッセージカードをプレゼントしました。様々な豊かな体験をさせていただき、子どもたちの心が豊かに育まれていることを実感しています。ありがとうございました。

## 卒園に向けて



### <前羽小学校見学・探検>

今年度は、コロナ禍で、前羽幼稚園の強みである小学校交流ができませんでした。そんな中でも機会を見つけ、カメのりりいちゃんの冬眠準備のために、小学校に落ち葉拾いに行かせてもらったり、園外のげんき畑に行くときには小学校の横を通り、校庭の掃除をしている用務員さんに挨拶をしたり、季節を通して木々や栽培物、草花の変化を感じたりしました。いよいよ卒園に向けての取り組みが始まる中、“小学校に行って授業見学や小学校内の探検をさせてもらえませんか”とお願いすると、快く受けてくださいました。当日、年長児は期待を膨らませて小学校へ行きました。校長先生に挨拶をした後、教頭先生に案内をしていただきました。まずは1年生の教室へ。知り合いの児童もいたことで、緊張もほぐれ授業の様子を見学させてもらいました。教室が棚を仕切りにしてフリースペースがあり、図工で製作した作品が展示されていました。遊び道具があったりして、興味津々の様子でした。入学後に最高学年になる5年生にも挨拶をさせてもらいました。「5年生って大きいね！」と体の大きさに驚いている姿もありました。音楽室からは海がキラキラと輝いて見え、「高い～！」「幼稚園が見える～！」と大歓声を上げていました。玄関横のアクアミュージアムでは4年生と一緒に餌やりさせてもらい「小学校に早く行きたい！」とさらに期待を膨らませていました。



### <カブトムシの幼虫の世話 引き継ぎ>

第2学期、カブトムシの幼虫が飼育ケースの上の方に出てきたことで、“栄養が足りなくなってきたね。”と土替えをすると、17匹もの幼虫が育っていることに子どもたちは歓声を上げながら驚きました。その後、当番が木々や葉が乾いたら霧吹きで水をあげ、世話をしました。幼虫がさらに成長していることが予想されたので、飼育ケースを2つに分けて、広いスペースをつくってあげることにしました。飼育ケースの木々、葉、土をどかすと、下の方に幼虫がたくさん丸くなっていました。「生きているかな？」と幼虫を恐る恐る触ってみると、「あ～動き出した！」と幼虫たちがゆっくりと動き始め、17匹全部が生きていることがわかりました。「よかった～！」とみんなでほっと胸を撫で下ろしました。飼育ケースをきれいに洗い、今度は2つの飼育ケースに新しい腐葉土を入れ、幼虫たちを土の上に戻してあげると、あれ？みるみるうちに、土の中に潜っていました。生き物の不思議も実体験しました。「これからは年少さんにお世話を頼みます！」と年長児から引き継いだ年少児が毎日愛着をもって世話をしています。



### <あいさつ当番引き継ぎ>

3校2園挨拶当番の引き継ぎを行いました。橋中学校区3校2園で大切にしていることとして3つの“あ”的推進があります。あいさつの“あ”・あんせんの“あ”・あさごはんの“あ”です。『元気よく気持ちのよい挨拶ができる』ことを育てていきたいと思います。保護者の皆様にもご協力いただきまして、ありがとうございました。年少児も年長児をお手本にしながら気持ちのよい挨拶ができました。

### <卒園記念製作>

親子で話し合い、イメージする設計図を書いてもらってから、製作を始めました。一人一人が夢中で取り組み、世界で一つだけの素適なペン立てが完成し、満足感と達成感を味わいました。幼稚園の思い出として大切に使ってくださいね。



## 保護者の皆様へ

### <おわかれ会>

クラス委員さんの企画で、おわかれ会を行いました。『写真当て』ゲームや『この声はだれのお母さんでしょう』クイズなど内容を工夫して開催してくれました。会中は笑い声と歓声が溢れ、あっという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。最後に写真撮影をし、いつまでも心に残るおわかれ会となりました。企画運営ありがとうございました。



### <おわかれ会で感謝の気持ちを伝えたい>

クラス委員の保護者からおわかれ会があることを聞いた子どもたちは、そのおわかれ会で、「家人に、2年間の感謝の気持ちを伝えたい！」とみんなで話し合い、家人に手紙をプレゼントすることにしました。他にもいくつかメッセージカードを作成している子どもたち。「こんなにたくさんの人にお世話になったんだね！」と嬉しそうに製作に取り組んでいる姿がありました。多くの方に支えられて、大きく育っていることを感じられたようです。



### <令和2年度卒園記念品>

ブナつみき



絵本



ゲームボックス



☆大切に使わせていただきます。ありがとうございました。



保護者の皆様、2年間、前羽幼稚園の教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございました。昨年末から、世の中が大きく変わり、今年度は日々変化する状況の中で、“ピンチがチャンス”と教育活動を見直し、知恵を絞って進めてまいりました。保護者の皆様には様々な場面で温かく見守られ、ご理解とご協力をいただきました。今年度を終えられることに改めて感謝申し上げます。温かい前羽地域の皆様に見守られて過ごした前羽幼稚園のことをいつまでも忘れずに、時々遊びに来てくださいね。

職員一同、お子様のこれから成長を心よりお祈りしています♥